

平成 27 年度 多自然川づくりの取組事例

平成 27 年度多自然川づくりにおいて、各機関より下記の多自然川づくりの取組事例について報告がありました。

機 関 名	取 組 事 例
	概 要
国土交通省 浜田河川国道事務所	<p>高津川の多自然川づくりについて</p> <p>高津川では、洪水防御の基本となる河川整備計画の目標流量を安全に流下させるために、大規模な河床掘削、樹木伐開等の治水事業を進めていかなければならない。ただ、同計画の河川環境の整備と保全に関する目標に「動植物の生息・生育・繁殖環境の保全については、良好な環境にあるアユ産卵場を保全するとともに、交互に連続する瀬・淵、礫河原、水際の入り組みや河畔林等、変化に富んだ特徴的な河川環境について、川の営力を利用しながら保全することを目指す」としていることから、確実な治水安全度の向上とアユ産卵場等河川環境の保全を図るため、今後実施する河床掘削に関する具体的な対策等について、各分野の専門的知識や経験を有する方々から意見を聴き、高津川で試験施工やモニタリングを行いながら河床掘削手法を決定した。</p>
鳥取県 県土整備部河川課	<p>地域と連携した川づくり ～曳田川じげの川づくり～</p> <p>曳田川は、鳥取県東部に位置する一級水系千代川の支川で、上流部には、『三滝溪』『杣小屋拱堰堤』といった、川を基調とした景勝地を有する河川である。</p> <p>当該河川の中流域に位置する西郷地区では、川づくりを核とした村づくりに積極的に取り組んでおり、平成 25～26 年度にかけて、住民参画による川づくりのモデル事業として、住民主体で策定した「曳田川溪流景観整備計画」に基づく河川整備を実施したので、その取組み事例を紹介する。</p>
国土交通省 出雲河川事務所	<p>大橋川改修における環境保全対策について</p> <p>中海と宍道湖を繋ぐ大橋川(全長 7.6km)は、多様な自然環境と古くから人との関わりを感じさせる景観を有する河川であり、河川改修にあたっては自然環境と景観の保全・再生が多くの市民から求められている。</p> <p>今回は、環境保全対策を含む工事の発注・施工段階プロセスの一例として福富地区の取組み事例を紹介する。</p>
広島県 土木建築局河川課	<p>玖島川多自然川づくりについて</p> <p>玖島川では、H17 年度に右岸の一部を災害復旧工事で施工。左岸が H17 年の洪水想定水位より低いため、左岸の河川改修を計画。今回は河川改修に当たり、河川環境調査でオオサンショウウオが発見され専門家の指導・助言を踏まえた計画設計の一例の取組み事例を紹介する。</p>
山口県 土木建築部河川課	<p>自然環境に配慮した改良復旧事業の取組みについて</p> <p>山口県北部に位置する阿武川水系阿武川において、平成 25 年 7 月 28 日の豪雨により、複数箇所で越水や破堤、護岸決壊が発生し、甚大な浸水被害が発生した。このため、再度災害防止を図るため河川等災害関連事業により改良復旧を実施している。</p> <p>この施工の中で実施した、魚がすみやすい河道の改修や魚がのぼりやすい固定堰の改修の事例を紹介する。</p>